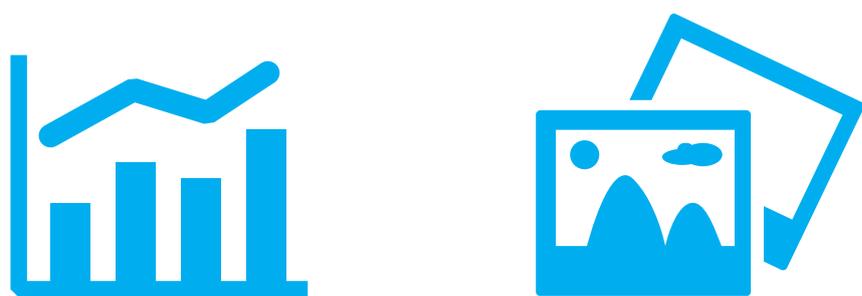


令和
5
年度
決算



グラフと写真でみる
まちの決算と
財政状況

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

- 栗山町第7次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

参考

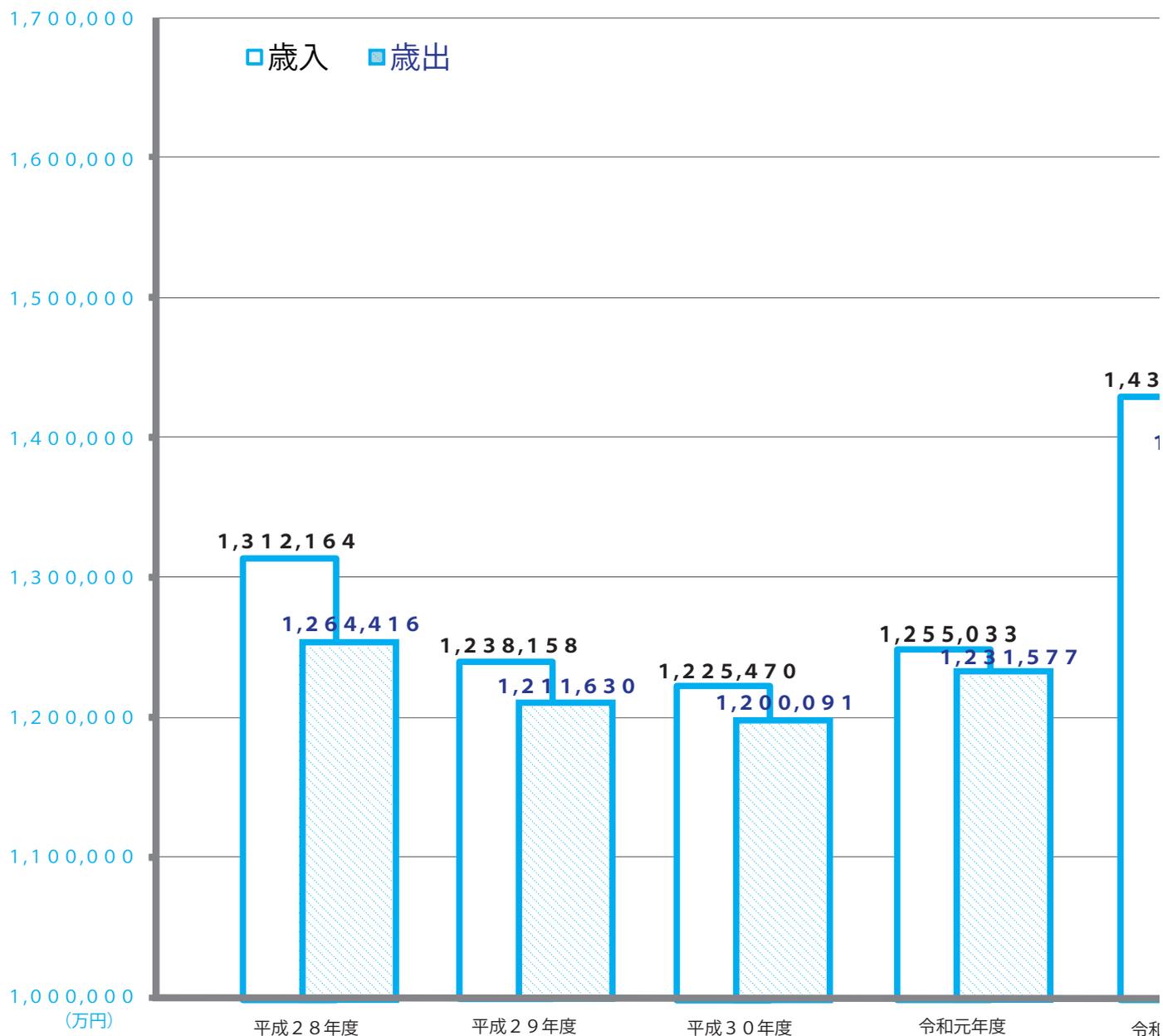
南空知9市町の令和4年度普通会計決算概要	25
----------------------	----



グラフでみる

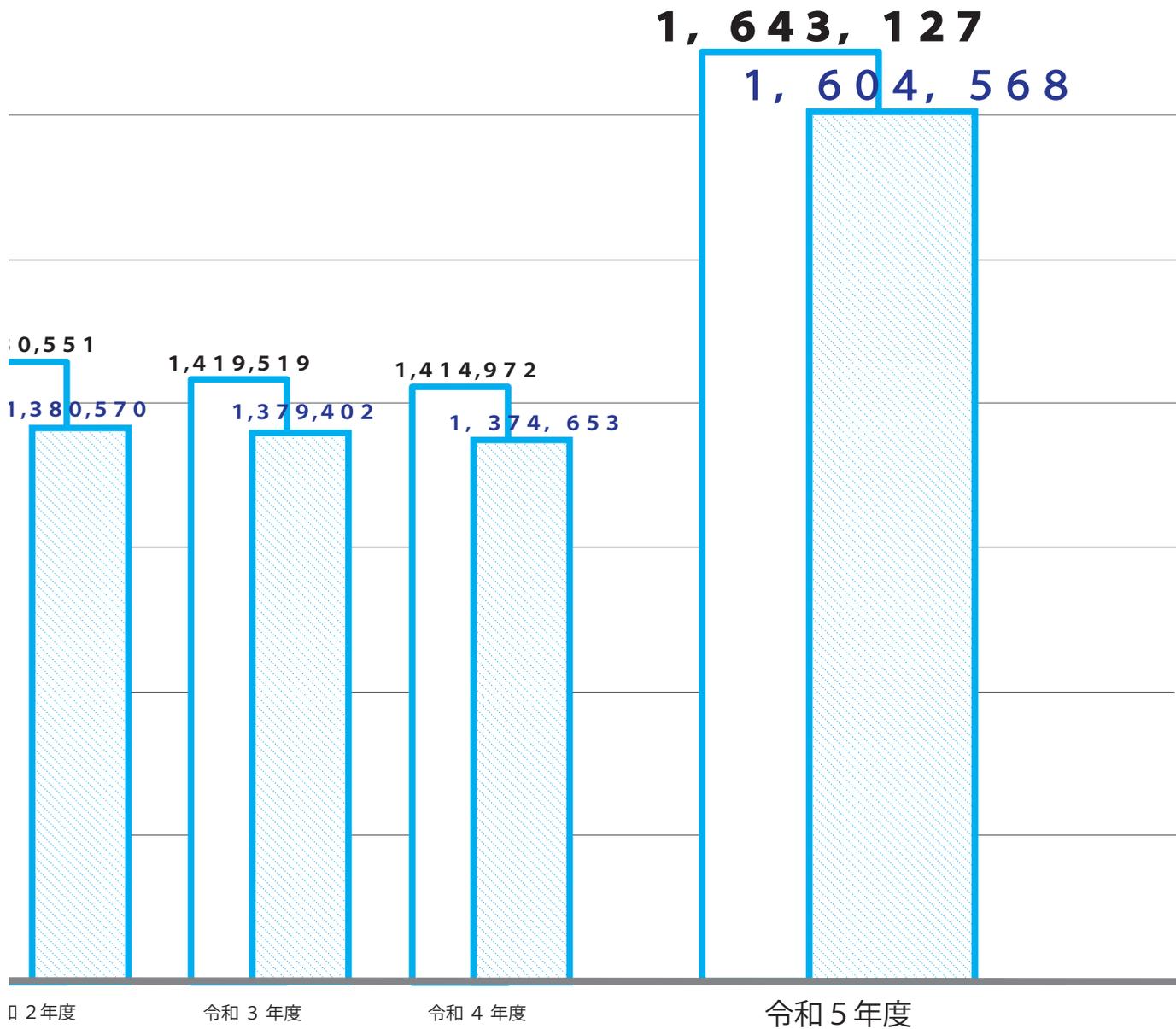
決算概要

全会計の決算概要と推移



令和5年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の令和5年度決算総額は、歳入で164億3,127万2,229,915万円の増）となりました。

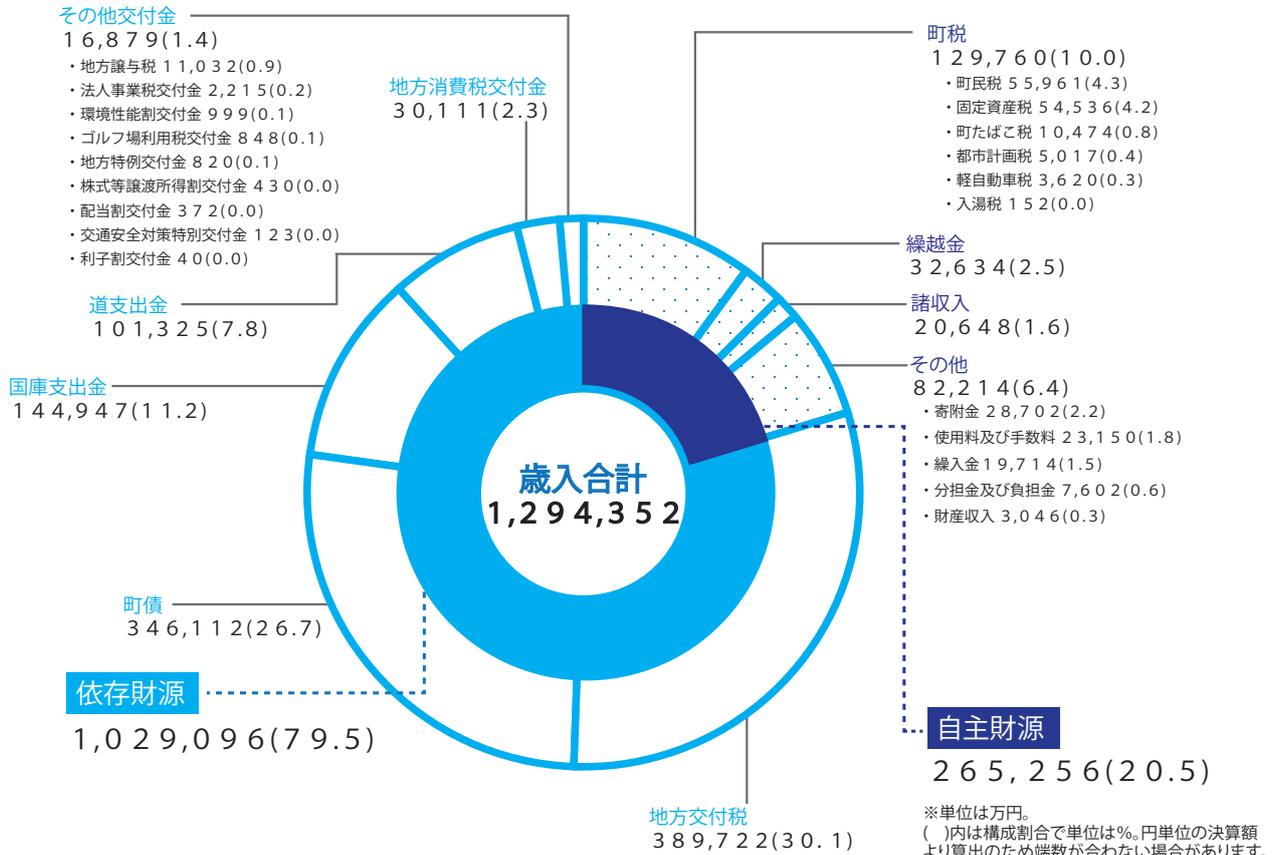
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



社学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成事業会計)の決算が、9月議会定例会議で認定されました。

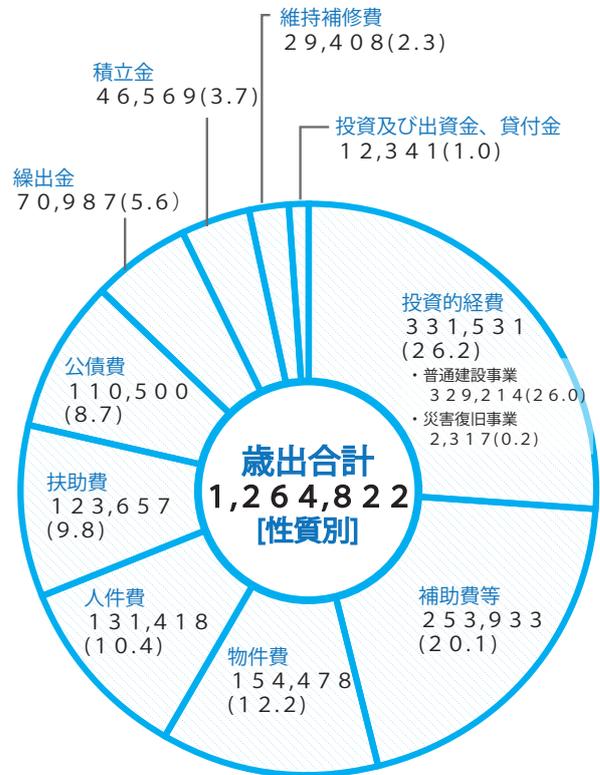
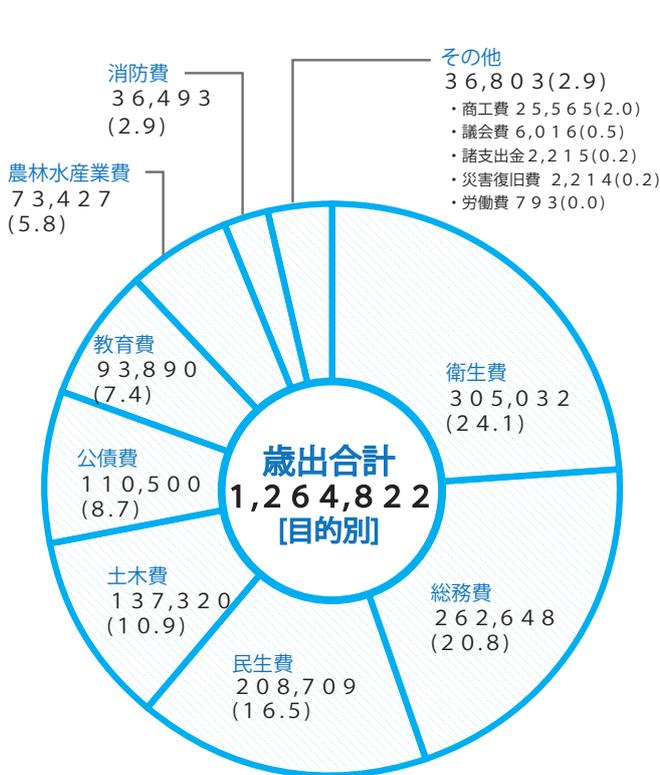
万円(前年比22億8,155万円の増)。歳出で160億4,568万円(前年比

一般会計の決算概要



歳入総額は129億4,352万円。
前年比20億6,966万円の増。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は129億4,351万5,800円。歳出（支出）総額は126億4,821万6,614円となり、差額の2億9,529万9,186円を次年度に繰り越しました。なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源3,500万円が含まれているため、実質収支は2億6,029万9,186円になりました。



※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

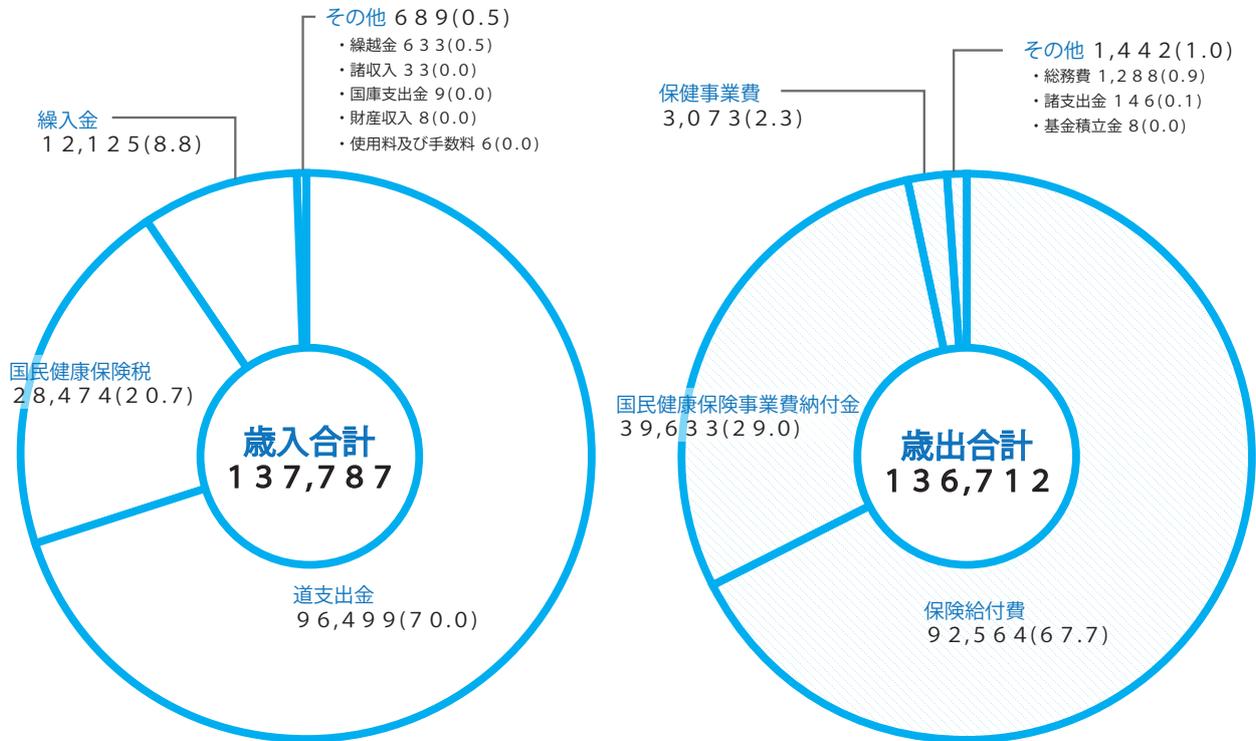
歳出総額は126億4,822万円。
 前年比21億71万円の増。

歳入は、町債や道支出金の増により、前年度比で約20億6966万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が20.5%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が79.5%となりました。

歳出は、前年度比で約21億71万円の増となりました。増減が大きい費目としては、衛生費が約20億9,040万円の増、総務費が約2億3,343万円の減となりました。

歳出全体の構成は、衛生費が最も多く、次に総務費、民生費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要



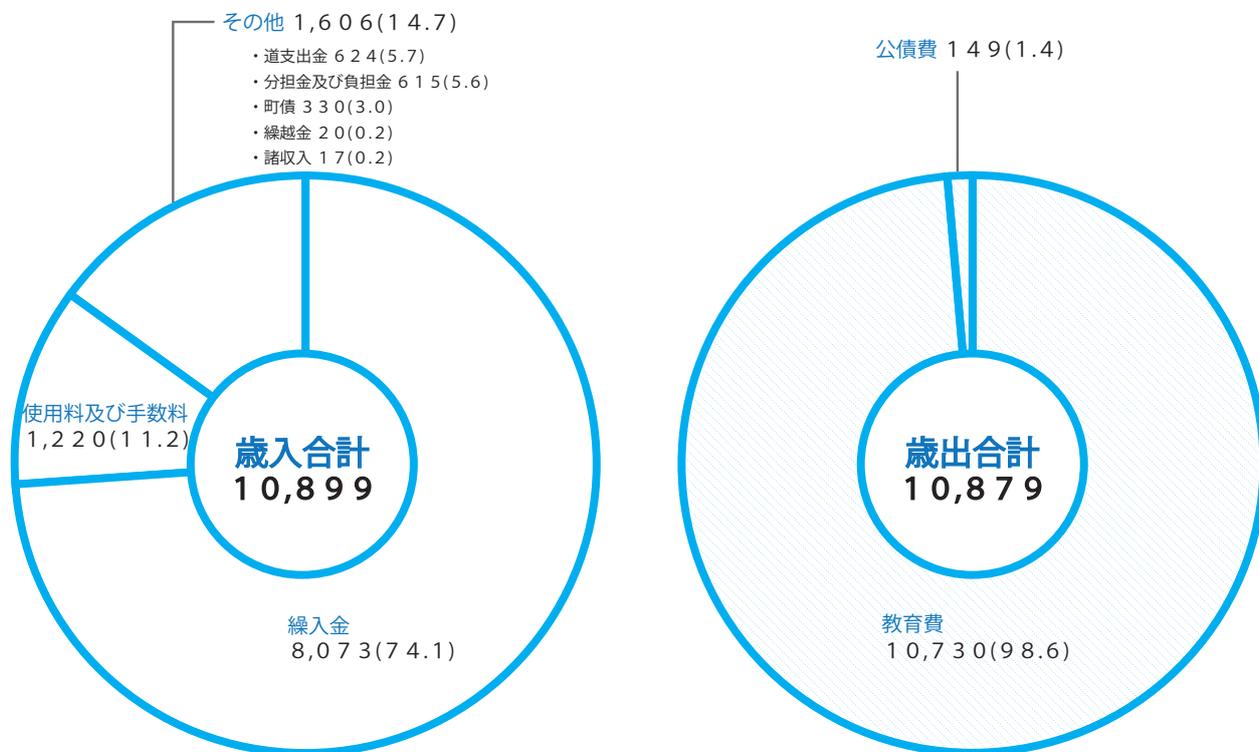
※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入13億7,787万円。歳出13億6,712万円。
 1,075万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和5年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,496世帯、被保険者数は2,426人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要



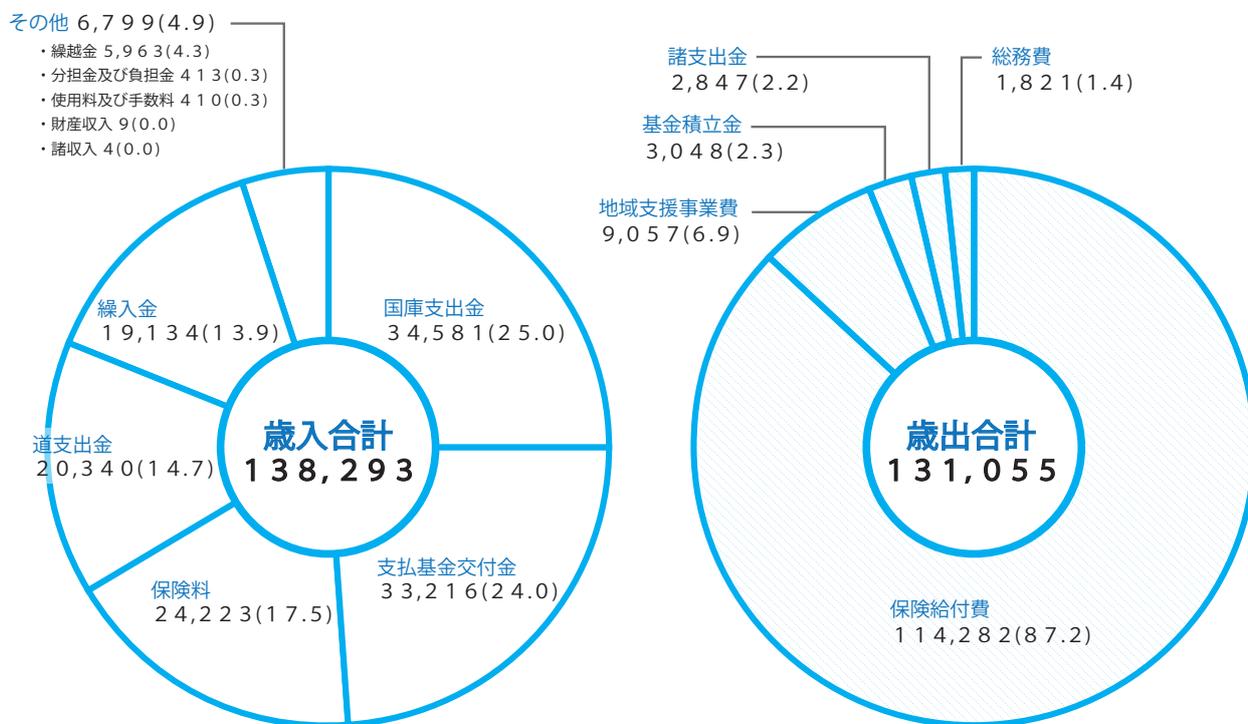
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入1億899万円。歳出1億879万円。
20万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は定員数に満たないものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来35年連続就職率100%を達成しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

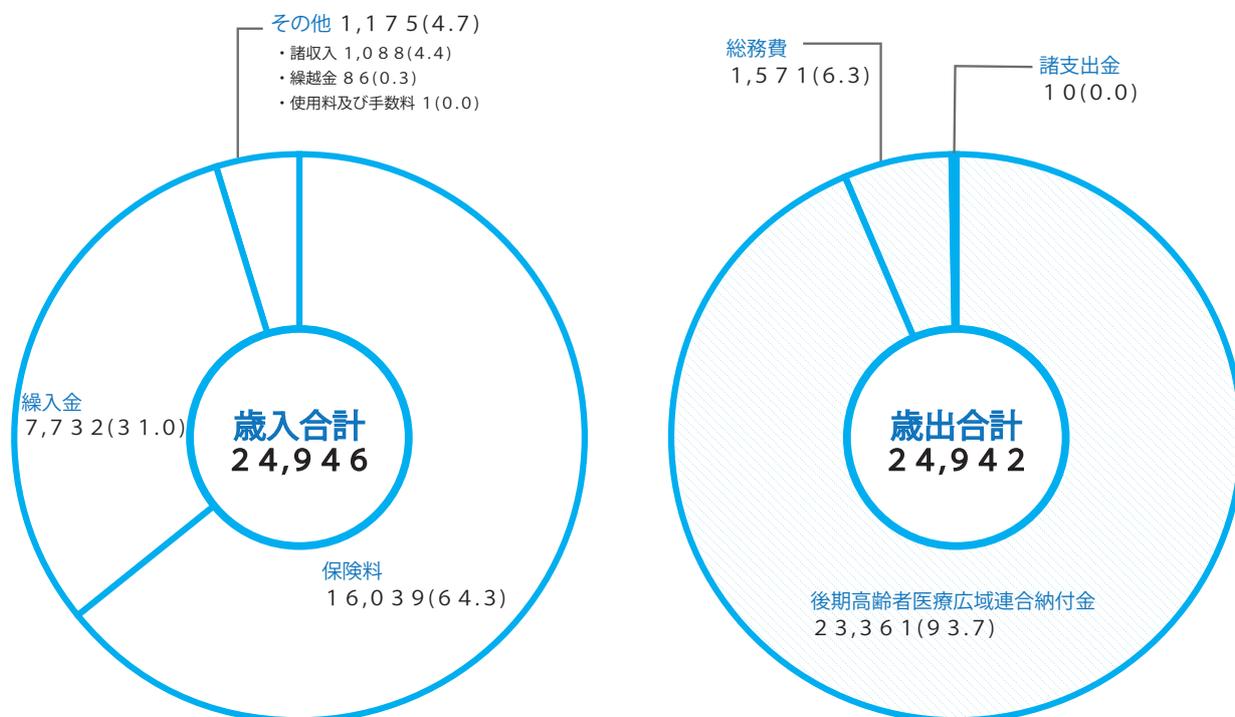
歳入13億8,293万円。歳出13億1,055万円。
 7,238万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



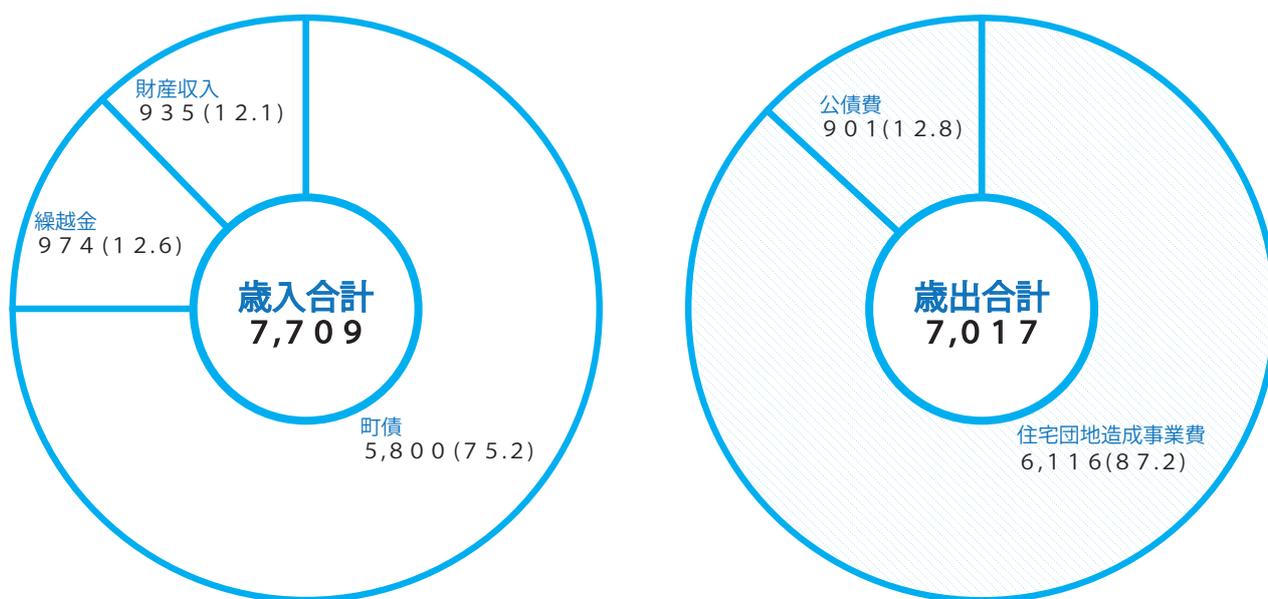
※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2億4,946万円。歳出2億4,942万円。
 4万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

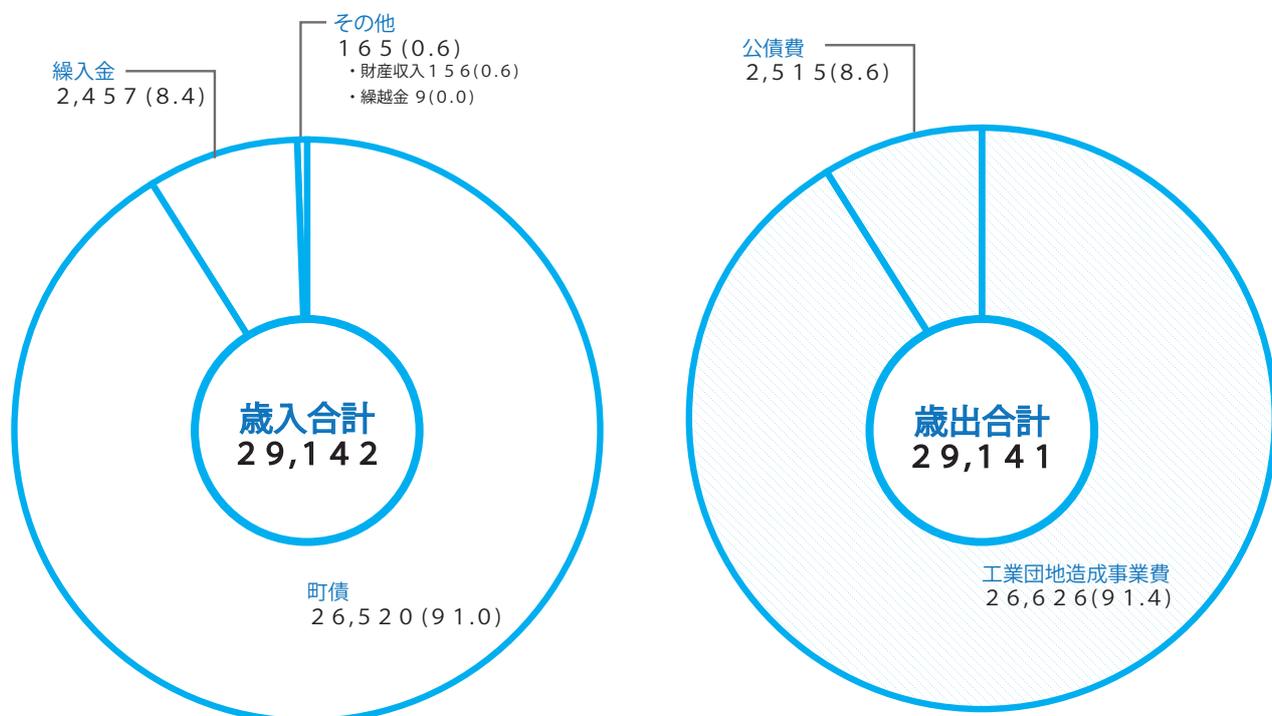
歳入7,709万円。歳出7,017万円。
692万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、住宅団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始した朝日4丁目住宅団地第4期(全19区画)は、令和5年度末までに18区画を販売しました。

また、中里住宅団地第1期分譲地の造成工事が完了しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

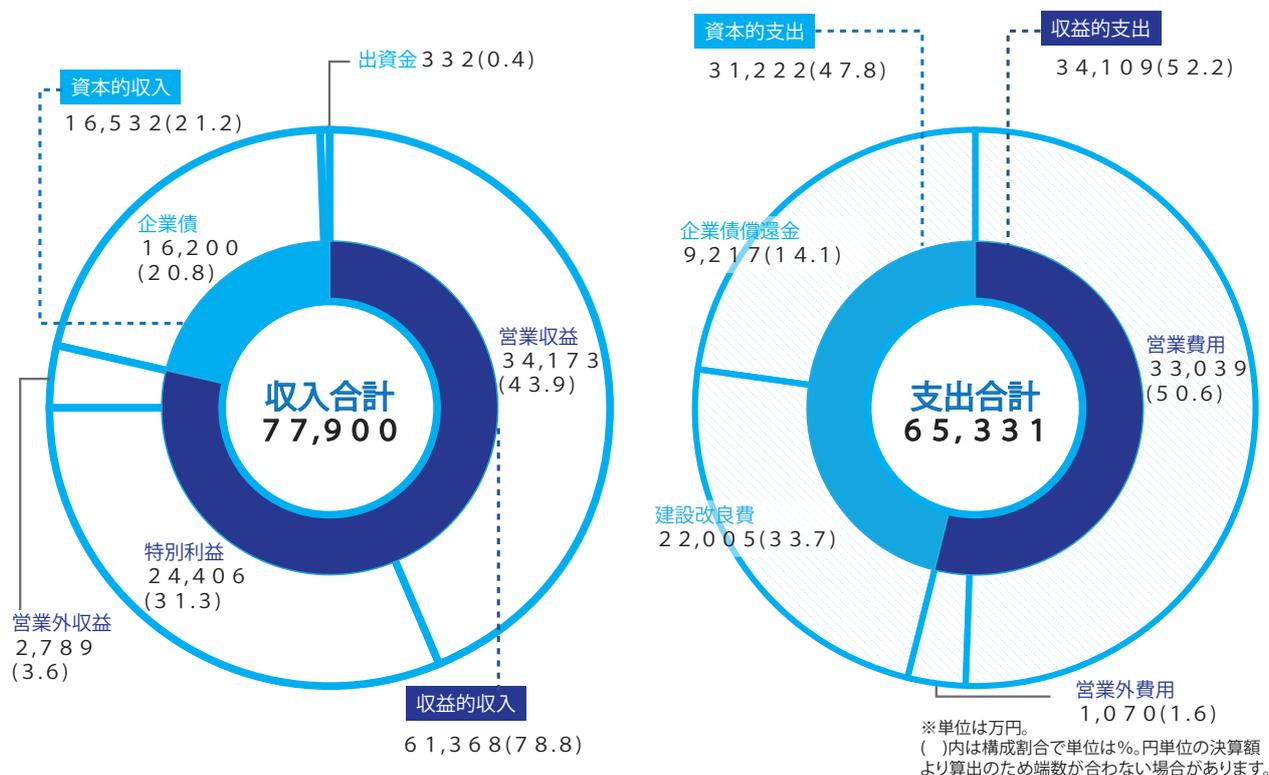
歳入2億9,142万円。歳出2億9,141万円。
1万円を翌年度に繰り越しました。

工業団地造成事業特別会計とは、工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度より分譲を開始した第4期工業団地（全7区画）は、令和5年度末までに3区画を賃貸借、2区画を販売しました。

また、第5期工業団地の造成工事が完了しました。

水道事業会計の決算概要



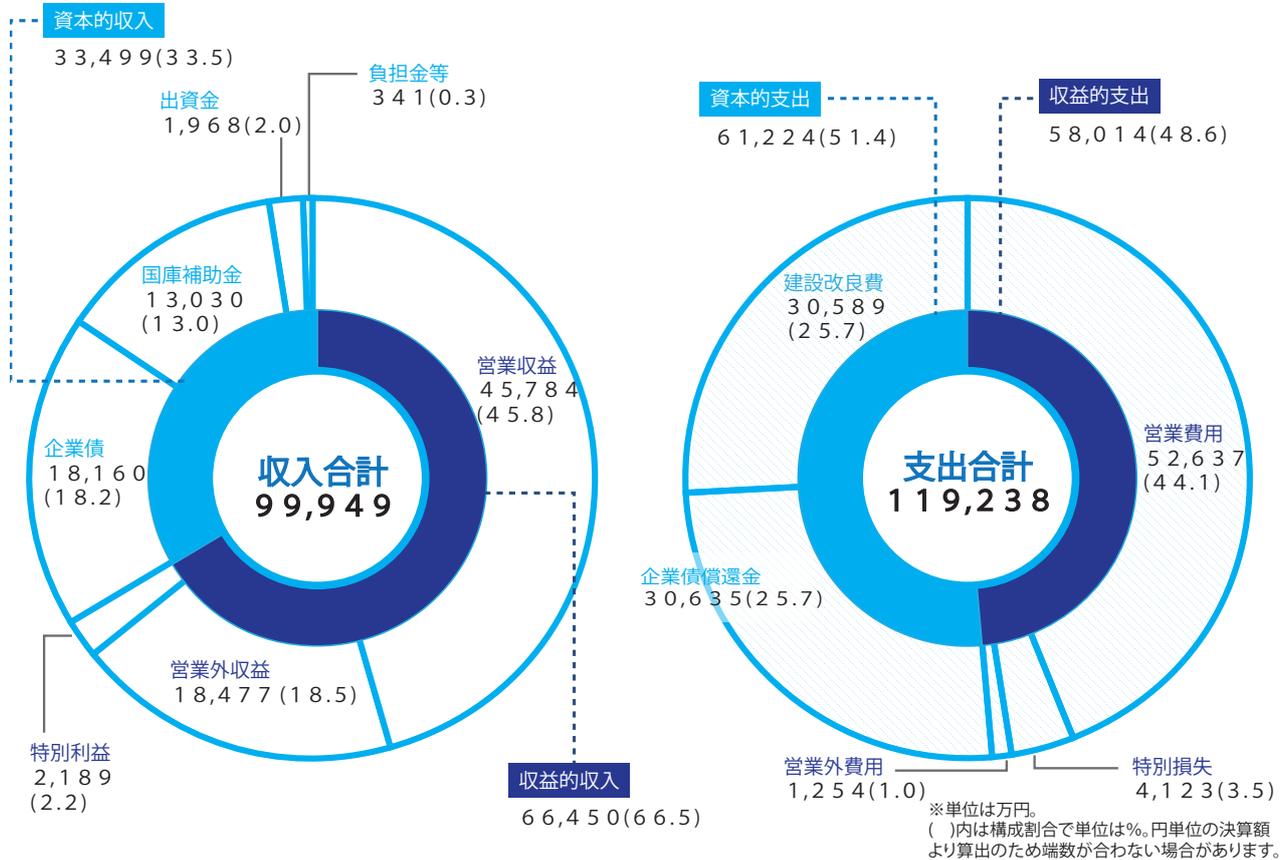
収入7億7,900万円。支出6億5,331万円。
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費(収益的収支)では差引2億7,259万円となりました。浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費(資本的収支)では1億4,690万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金(損益勘定留保資金など)で補てんしました。

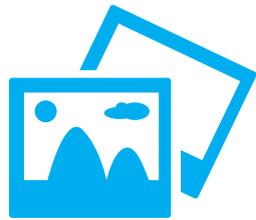
下水道事業会計の決算概要



収入9億9,949万円。支出11億9,238万円。
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では差引8,436万円となりました。下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では2億7,725万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第7次総合計画
の主要施策より

※栗山町第7次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
2

ごみの正しい知識の普及啓発と協働体制づくりを推進します。



(ごみ処理施設見学会の実施)
決算額 1,298 千円

計画
事業
3

広域組合の共同処理（焼却・埋立）により、安定したごみ処理体制を構築します。



(令和6年4月から稼働中の広域焼却施設)
決算額 526,300 千円

計画
事業
5

再生可能エネルギーによる温室効果ガスの排出抑制など地球温暖化対策を推進します。



(太陽光発電システム設置に対する助成)
決算額 1,451 千円

計画
事業
6

防災知識啓発、地域防災活動を推進します。



(防災訓練の実施)
決算額 2,784 千円

計画
事業
8

消防車両などを計画的に更新します。



(更新した救急車)
決算額 54,890 千円

計画
事業
13

交通安全運動及び交通安全施設整備を推進します。



(交通安全教室の実施)
決算額 4,468 千円

計画
事業
18

学校教育におけるICTの利活用を推進します。



(PC等を活用したICT教育の実施)

決算額 17,082 千円

計画
事業
34

食育事業等を通じて子どもたちに食に対しての正しい知識や理解を深めます。



(「ふるさと給食」を食べている子どもたちの様子)

決算額 31 千円

計画
事業
44

青少年育成会活動を支援します。



(初級・上級リーダー研修の実施)

決算額 866 千円

計画
事業
51

ハサンベツ里山づくりの町民活動を支援します。



(ハサンベツ里山の日の様子)

決算額 8,485 千円

計画
事業
54

生涯スポーツを推進します。



(くりやまハーフマラソンの様子)

決算額 5,555 千円

計画
事業
60

姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などの青少年交流事業を実施します。



(姉妹都市子ども交歓のつどいの実施)

決算額 1,540 千円

計画
事業
61

生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療に向けた健（検）診の実施と疾病の重症化予防に取り組みます。



(集団検診の実施)

決算額 35,738 千円

計画
事業
67

栗山赤十字病院改築事業を推進します。



(栗山赤十字病院改築工事への助成)

決算額 2,050,000 千円

計画
事業
69

子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。



(子育て支援センター「スキップ」の運営)

決算額 15,302 千円

計画
事業
76

高齢者の介護予防事業を推進します。



(生きがいづくり教室の実施)

決算額 8,309 千円

計画
事業
81

ケアラー支援の充実を図ります。



(ケアラー支援学習会の実施)

決算額 2,721 千円

計画
事業
93

スマート農業を推進します。



(ドローンや自動操舵農機導入への支援)

決算額 8,192 千円

計画
事業
98

造林事業などにより適正な森林管理を推進します。



(新たに植林された木々)

決算額 28,810 千円

計画
事業
100

賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。



(商店街イベントへの助成)

決算額 10,465 千円

計画
事業
105

地域資源を磨き上げ観光・交流による地域経済活性化を推進します。



(栗山秋まつりの様子)

決算額 48,436 千円

計画
事業
107

「くりにイトするまち栗山町」の地域ブランドイメージを活かし、関係人口となる「ひと」を呼び込みます。



(くりにまクリエイターズマーケットの運営)

決算額 4,371 千円

計画
事業
108

雇用の確保と労働環境の向上を図ります。



(通年雇用支援セミナーの実施)

決算額 74 千円

計画
事業
116

町営バスの運行により、交通弱者の移動手段を確保します。



(コミュニティバスの運行)

決算額 90,128 千円

計画
事業
119

公営住宅の整備・改修を実施します。



(新築した継立西団地)

決算額 339,235 千円

計画
事業
125

河川環境の改善・水害防止に努めます。



(河川の土砂等の撤去)

決算額 5,225 千円

計画
事業
130

景観資源の保全・活用を図ります。



(くりやま景観フォトコンの実施)

決算額 211 千円

計画
事業
136

ふるさと納税制度の効果的な運用を図ります。



(町外PR活動の様子)

決算額 271,743 千円

計画
事業
145

広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。



(広報くりやまの発行)

決算額 14,963 千円

計画
事業
147

町長のまちづくり懇談会を行い町政の町民参画を推進します。



(まちづくり懇談会の様子)

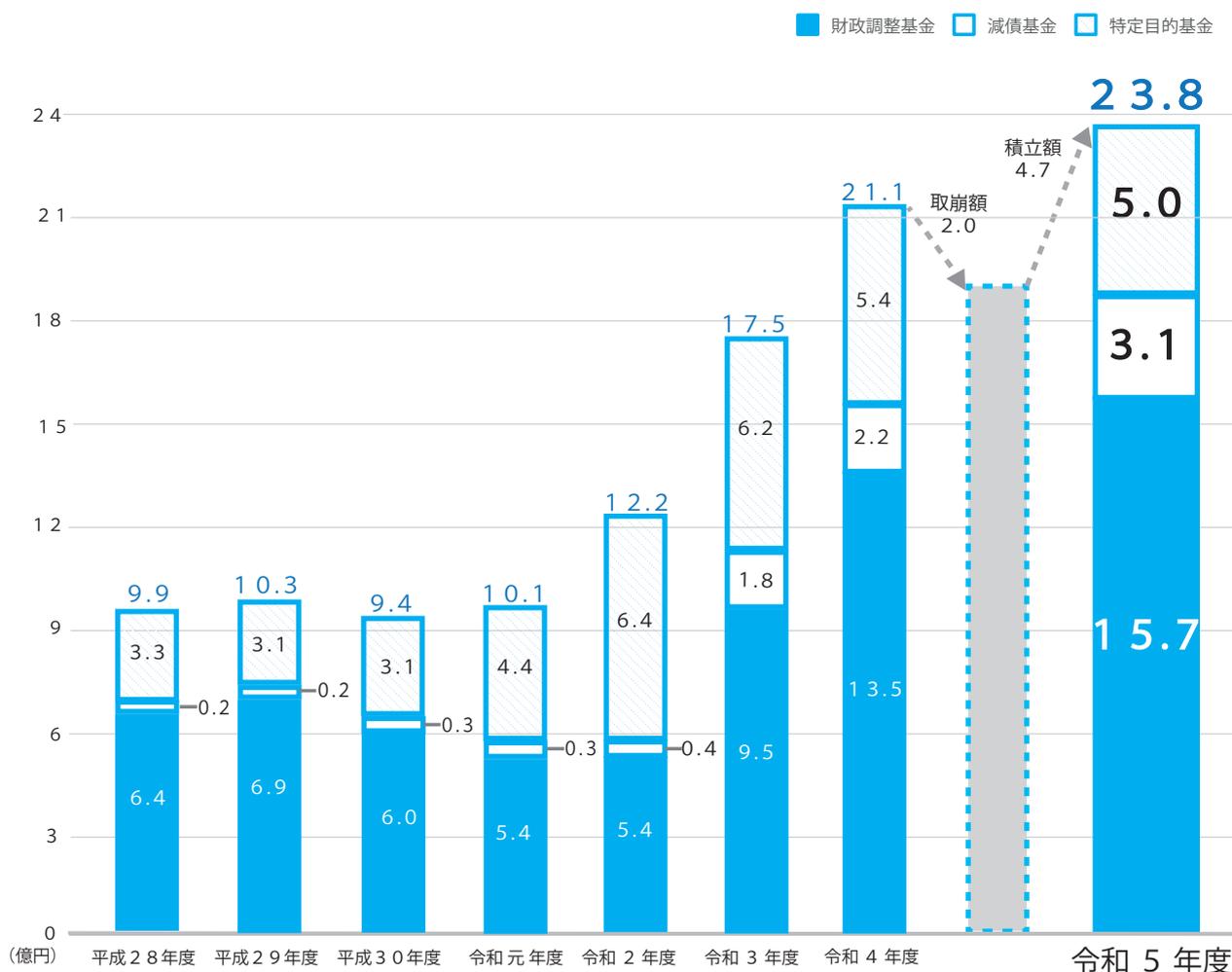
決算額 65 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）

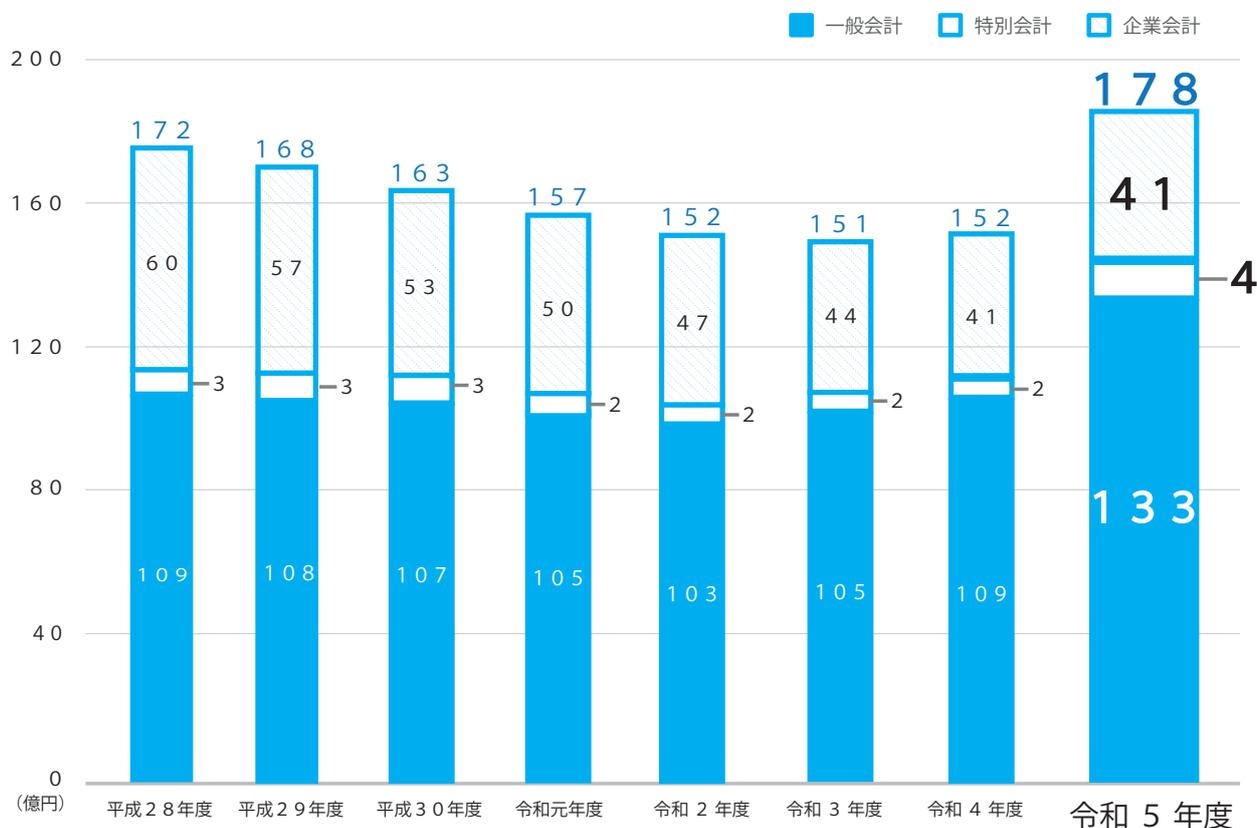


基金の年度末残額は23億7,923万円。
前年比2億6,943万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で23億7,923万円になり、前年度比で2億6,943万円の増となりました。

なお、令和5年度における取り崩し額は1億9,773万円で、積み立て額は4億6,643万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は178億3,840万円。
前年比26億2,988万円の増になりました。

町債（町の借入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で178億3,840万円となりました。栗山赤十字病院改築等事業に係る町債の借入等により、前年比で26億2,988万円の増となりました。

財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

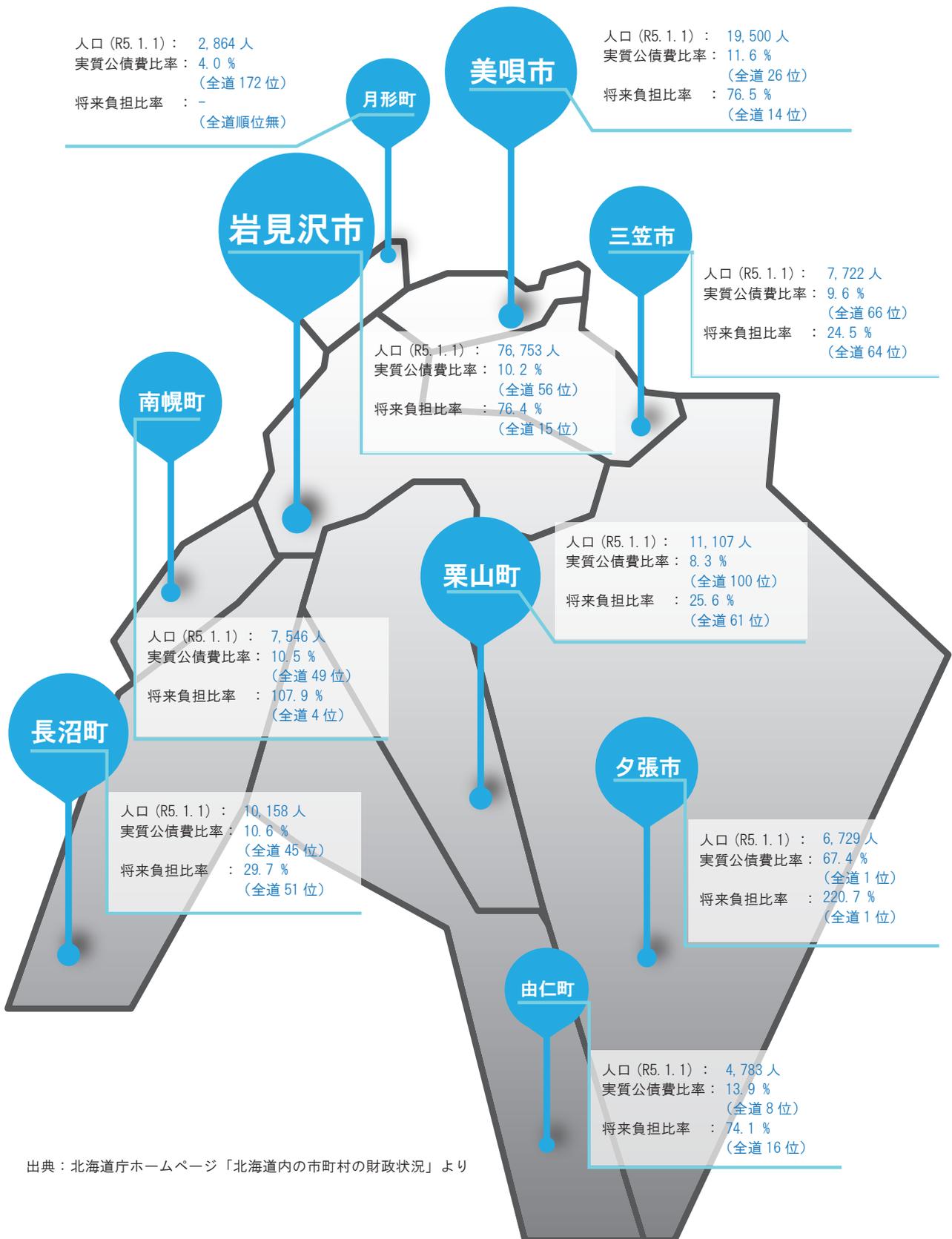
指 標	指標の説明	比 率 (R 5 決算)	全道市町村 の平均 (R 4 決算)	基準値		
				早期健全化 基 準	財政再生 基 準	
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	14.95%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	19.95%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	6.4%	7.0%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	32.5%	18.8%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)	資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%		

まちの財政は「健全基準」にありますが、依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

実質公債費比率の状況は全道平均を下回っておりますが、引き続き将来世代に大きな負担を残すことのない財政運営に努めていく必要があります。

南空知9市町の令和4年度普通会計決算概要



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和5年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「令和5年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発行 / 栗山町

発行日 / 令和6年10月

編集 / 経営企画課行政経営グループ

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

TEL : 0123-73-7503 (直通) FAX : 0123-72-3179 (代表)

WEB : <http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。